

令和3年 第3回 愛別町教育委員会 会議録

- 1 召集年月日 令和3年 2月18日(木)
- 2 召集場所 愛別町総合センター 大ホール
- 3 開 会 令和3年 2月26日(金) 午後 3時00分～

4 出席委員

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
委員	長屋 修二	出	委員	菊地美智子	出
委員	森定 典子	出	教育長	大山 一成	出
委員	三嶋 健嗣	出			

5 会議に出席したものの職氏名

教育次長	谷 田 道 明
幼児センター長	森 川 儀 彦
主幹	金 子 優 美
学校教育係長	河 合 み どり
スポーツ推進係長	田 邊 計 吾
社会教育係長	端 場 大 竜
教育推進アドバイザー	山 村 美 勝

6 教育長提出議題

議案第1号 教育委員会の意見を聴取する令和3年度予算について

議案第2号 教育委員会の意見を聴取する令和2年度教育委員会補正予算について

報告第1号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況について

7 議決事項

議案第1号 原案可決

議案第2号 原案可決

報告第1号 承認

8 協議・その他

発 言 者	会 議 録 (1)
谷田次長	全員お揃いですので、ただ今から第3回目の教育委員会議を始めたいと思います。教育長よろしくお願い致します。
大山教育長	<p>本日、教育委員さん4名の方ご出席で全員の出席でございます。ただ今から第3回目になります愛別町教育委員会議始めさせていただきたいと思います。この会議の前に、この後教育表彰で文化奨励賞を受賞されます熱海武蔵君、それともうひと方、上北翔音君の自衛隊入隊の激励会というのを午前中にさせていただいて、その中でも少し熱海君とはお話をさせていただきましたが、お二人とも航空自衛隊ということで、卒業後は埼玉県熊谷市の教育部隊のほうにまず入隊をされるということです。彼ら2人以外にもたくさんいらっしゃるかと思いますが、本当に違った土地で愛別の子ども達が、それぞれ愛別で学んで力を付けた、そういうものを存分に発揮をしていただくようなことを期待させていただきたいと思っていますし、この後、表彰式の中でもお話をさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>それではただ今から会議を開催させていただきたいと思います。会議録署名委員を、長屋委員にお願いをしたいと思います。よろしく申し上げます。前回の会議録承認ということでございますが、何かございますか。</p>
委員	ありませんの声。
大山教育長	<p>それでは無ければご承認をいただけたということで、次に進めさせていただきたいと思います。5番目の教育長報告でございます。資料の綴りの1ページ目をお開きください。</p> <p>(前回の第2回教育委員会議以降の動向について説明)</p> <p>以上、教育長報告に代えさせていただきますが、お聞きになりたい点ありましたらお出しいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
委員一同	はい。
大山教育長	それでは議案審議に移りたいと思います。議案第1号「教育委員会の意見を聴取する令和3年度予算について」を議題とさせていただきます。事務局のほうから説明をお願い致します。
谷田次長	<p>(議案第1号の朗読)</p> <p>別添で、令和3年度愛別町一般会計予算、教育委員会関係ということで、歳出28ページまでのものがございます。本年度は町長選挙があるということで、骨格予算ということではありますが、教育委員会関係につきましては、一部が政策予算にまわっている部分はあるんですけれども、大部分が当初予算の中に入って</p>

発 言 者	会 議 録 (2)
	<p>いるところでございます。また、予算編成に当たりましては、前年度から一般財源ベースで6.8%削減しなければ予算が編成できないというような方針が掲げられておまして、削れる額が限られている部分もありますけれども、全体的に削減の内容になっております。最初に、森川センター長から、保育所、幼稚園関係の説明をいただいて、その後、教育委員会事務局関係の説明をしたいと思っております。よろしくお願い致します。</p>
森川センター長	(幼児センター関係の予算の説明)
谷田次長	(教育委員会事務局関係の予算の説明)
大山教育長	<p>新年度予算は10日から始まります定例会に提案をさせていただきます内容の説明をさせていただきました。ちょっとボリュームもたくさんありますし、金もさ多いです、皆様からこれだけはお聞きになりたいことがあればお出しいただきたいと思っております。</p>
	<p>今、次長からも話があった通り、来年の4月18日に町長選挙が執行されるということで骨格予算になっています。今日の新聞にも出ていましたが、全体的にも若干減っているということで、教育委員会としては政策予算で児童生徒入学通学応援事業の大部分を政策予算に回させていただくということで、その部分がちょっと減額になっているのかなというふうに思っております。あとそれ以外については、やはり全体的な財政が厳しい折の歳出削減というような意味合いで結構減っている部分はあるのかなと思っております。それでも1億近い繰入をしていかなければ間に合わないという状況の中で予算編成をされたように聞いてございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
委員	はいの声。
大山教育長	<p>それでは議案第1号については教育委員会の委員の皆様からは了解を得られたということで町議会のほうに提案をさせていただき、ご審議をいただこうと思っております。続きまして議案第2号「教育委員会の意見を聴取する令和2年度教育委員会補正予算について」を議題とさせていただきます。事務局のほうから説明をお願いします。</p>
谷田次長	<p>(議案第2号の朗読)</p> <p>別添にあります補正予算につきましてご説明させていただきたいと思っております。まず、幼児センターの補正予算を森川センター長のほうからお願いしたいと思います。</p>
森川センター長	(幼児センター関係の補正予算の説明)

発 言 者	会 議 録 (3)
谷田次長	(教育委員会事務局関係の補正予算の説明)
大山教育長	それでは皆様からご意見、ご質問等いただきたいと思いますがいかがでしょうか。
	よろしいでしょうか。
長屋委員	これだけ色んなことができなかつたんだよね。これが長引かないようにしてほしいですね。
大山教育長	それではこのような形で提案をさせていただくということでよろしいでしょうか。
委員	はいの声。
大山教育長	それでは報告第1号に移らせていただきます。「教育長に委任された事務の管理及び執行状況について」を報告案件とさせていただきます。説明のほうをお願い致します。
谷田次長	(報告第1号の朗読)
	(報告第1号の説明)
大山教育長	それでは今の報告に対してお聞きになりたい点ありましたらお出しただきたいと思います。
菊地委員	アンケートなんですけど、うちももらったんですが、WEBでの回答はアンケートをもらってから回答しても良いですよっていう日にちがすぐだったんですけども、調査票のほうは提出してくださいという日付が相当後だったと思うんですよね。それが原因じゃないかなっていうことです。
谷田次長	確かにWEBでも回答をして、封筒も出したという方もいらっしゃるかもしれないですね。
菊地委員	何ヶ月かあとだったような気がするんですよね。
谷田次長	冬休み前に配って、冬休み明けに出してくださいっていうのが、いつものパターンですね。
菊地委員	休み前にもらって、休み挟むとどう考えても忘れるんですよね。だから、だいが前に配って、冬休み前に回答するだとか、休み挟むのが良くないと思います。
大山教育長	言い訳がましい話になりますが、全国的なものですからある程度、うちみたいに小規模な地域と違ってもっともっと大きな地域もあるでしょうし、そういう期間も必要だということで、それぞれ検討をいただいての実施になっているんじゃないかなと思いますが、何らかの機会に私のほうからちょっとそういうご意見もあつたというようなことでお伝えをさせていただきたいと思いますが、そんなことでよろしいでしょうか。

発 言 者	会 議 録 (4)
委員	はいの声。
大山教育長	他にございませんか。
委員	はいの声。
大山教育長	無ければ報告第1号は終了させていただきます。この後もありますので、7番の協議、その他に移らせていただきます。事務局のほうからお願いしたいと思えます。
谷田次長	(今後の日程等について説明)
大山教育長	それでは次回の教育委員会議、15時30分でご都合よろしいでしょうか。
委員	はいの声。
大山教育長	よろしいですか。そんなことで、告示等々ご案内も差し上げたいというふうに思えます。あと、あいべつ校の卒業証書授与式が3月12日ですね。
谷田次長	すみません。訂正願います。
大山教育長	出席はご遠慮いただきたいというようなことのご案内がいつているかと思えます。卒業式関係は全て委員の皆様は出席に及ばないというようなことをごさいますので、よろしく願いたいと思えます。入学式についても、たぶん同様ではないかなと思うんですが、まだちょっとはつきりしていない部分がありますので、3月中の教育委員会議の中でまたお知らせをさせていただきたいというふうに思えます。 お聞きになりたい点無ければ閉じさせていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。
委員	はいの声。
大山教育長	それでは以上を持ちまして第3回の教育委員会議終了させていただきます。大変ありがとうございました。
	令和3年 2月26日 午後4時17分閉会
	会議録署名委員 長屋 修二
	会議録作成者 谷田 道明